

平成26年度 第1回 介護保険・障がい福祉専門部会 資料

平成26年7月4日

件名	平成25年度 足立区介護保険事業実施状況（速報値）について											
所管部課	福祉部介護保険課											
内 容	<p>平成25年度足立区介護保険事業実施状況（速報値）について、以下のとおり報告する。</p>											
	<p>以下、（ ）内の数値は前年度の数値</p>											
	<p>1 第一号被保険者 （1）被保険者数 159,645人（155,027人） （2）現年度収納率 96.9%（97.0%）</p>											
	<p>2 認定状況 25年度末要支援・要介護認定者数 29,339人（27,755人）</p>											
	<p>3 保険給付状況 （1）介護サービス受給者数 23,473人（22,354人） （2）保険給付費 42,178,177千円（39,680,045千円）</p>											
<p>詳細は資料5-1を参照</p>												
<p>参 考 【総人口、65歳以上人口、高齢化率の推移】（各年4月1日現在）</p>												
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年</th> <th>平成23年</th> <th>平成24年</th> <th>平成25年</th> <th>平成26年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総人口</td> <td>666,450</td> <td>668,814</td> <td>669,097</td> <td>669,592</td> <td>671,333</td> </tr> </tbody> </table>		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	総人口	666,450	668,814	669,097	669,592	671,333
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年							
総人口	666,450	668,814	669,097	669,592	671,333							
<p>平成26年4月1日現在、足立区における高齢化率は23.73%であり、23区で2番目に高い状況である。</p>												

(数値は、特に記載のないものは平成26年3月31日現在)

1. 保険料賦課状況

第1号被保険者数 (人)

年齢区分	A 25年度	B 24年度	増減数	前年比 (A/B)
65歳以上75歳未満	86,400	84,197	2,203	102.6%
75歳以上	73,245	70,830	2,415	103.4%
(再掲)外国人	1,716	1,635	81	105.0%
(再掲)住所地特例者	568	511	57	111.2%
計	159,645	155,027	4,618	103.0%

「住所地特例」とは、施設入所者が施設所在地に住民登録を異動しても、異動前の区市町村が保険者となる仕組みである。

第1号被保険者数の保険料段階別状況

(人)

所得段階	人数	割合	24年度割合
第1段階	11,015	6.9%	6.8%
第2段階	29,534	18.5%	18.1%
特例第3段階	12,293	7.7%	6.9%
第3段階	11,654	7.3%	7.5%
特例第4段階	14,368	9.0%	15.2%
第4段階	23,308	14.6%	8.8%
第5段階	18,998	11.9%	12.0%
第6段階	15,327	9.6%	9.7%
第7段階	15,965	10.0%	10.4%
第8段階	3,033	1.9%	2.0%
第9段階	1,277	0.8%	0.8%
第10段階	1,118	0.7%	0.7%
第11段階	798	0.5%	0.5%
第12段階	957	0.6%	0.6%
計	159,645	100.0%	100.0%

第1号被保険者の収納状況

(千円)

	A 賦課(調定額)	B 収納額	B/A収納率	24年度収納率
特別徴収	8,149,485	8,164,922	100.2%	100.2%
普通徴収	1,735,038	1,415,542	81.6%	82.2%
計	9,884,523	9,580,464	96.9%	97.0%
滞納繰越	534,573	63,807	11.9%	12.8%

賦課額・収納額は26年5月末日現在

収納額は還付未済額を含む

滞納繰越分は普通徴収のみ

2. 認定状況

要介護度別の認定者数

(人)

	第1号被保険者		第2号被 保険者 (40~64 歳)	合計	構成比	24年度末 認定者数 合計	24年度末 構成比	(参考) 東京都24年 度末構成比
	前期高齢者 (65~74歳)	後期高齢者 (75歳以上)						
要支援1	863	3,273	80	4,216	14.4%	3,648	13.1%	14.8%
要支援2	790	2,987	112	3,889	13.3%	3,674	13.3%	12.7%
要介護1	714	3,537	89	4,340	14.8%	4,043	14.6%	18.5%
要介護2	1,012	4,535	155	5,702	19.4%	5,472	19.7%	17.4%
要介護3	675	3,060	124	3,859	13.2%	3,810	13.7%	12.7%
要介護4	547	3,051	111	3,709	12.6%	3,590	12.9%	12.3%
要介護5	559	2,932	133	3,624	12.3%	3,518	12.7%	11.6%
計	5,160	23,375	804	29,339	100.0%	27,755	100.0%	100.0%
構成比	17.6%	79.7%	2.7%	100.0%				
構成比 対前年増減	0.0%	0.2%	-0.2%					

被保険者別構成比は、前年と比較し、後期高齢者が増加した。

3. 保険給付状況

介護サービス受給者数の推移

(人)

各月末\受給者数	受給者数	受給者数	
		在宅	施設
24年3月	20,938	17,807	3,131
25年3月	22,354	19,047	3,307
26年3月	23,473	20,069	3,404

26年3月末の「受給者数」23,473人は、25年3月末より1,119人増加し、5.0%の伸びとなった。
在宅受給者数は、償還払(福祉用具購入、住宅改修)のみの受給者は含まない。

介護サービス別保険給付費

(千円)

サービス名	A 25年度給付費			B 24年度給付費	対前年比 (A/B)
	介護給付	予防給付	合計		
居宅サービス	26,286,933	1,855,354	28,142,287	26,414,746	107%
施設サービス	11,400,620		11,400,620	10,792,833	106%
福祉用具購入	63,562	15,075	78,637	75,228	105%
住宅改修	112,924	66,331	179,255	177,549	101%
高額介護サービス費(公費負担分含)	911,526		911,526	831,937	110%
高額医療合算介護サービス費	117,073		117,073	104,885	112%
特定入所者介護サービス費	1,291,224		1,291,224	1,228,764	105%
審査支払手数料	48,850	8,705	57,555	54,103	106%
その他			0	0	-
総計	40,232,712	1,945,465	42,178,177	39,680,045	106%

利用者負担額減額状況

ア) 特定入所者介護サービス費支給対象者数

(人)

	特別養護老人ホーム	老人保健施設	療養型医療施設	短期入所介護	計
第3段階(第2段階以外の住民税世帯非課税者)	320	145	50	820	1,335
第2段階(住民税世帯非課税者で下記の場合)	808	393	73	1,555	2,829
第1段階(老齢福祉年金受給者・生保受給者)	203	195	34	569	1,001
計	1,331	733	157	2,944	5,165

第2段階は住民税非課税世帯で、合計所得金額+課税年金収入が80万円以下

イ) 生計困難者に対する利用料助成事業(都制度)

家族介護慰労金事業

	25年度	24年度
軽減者数	132	145
助成延べ件数	1,133	1,362
助成額(円)	3,330,702	3,550,759

	25年度	24年度
件数	10	11
支給額(円)	1,300,000	1,100,000

4. 介護保険課・権利擁護センターあだちの相談状況

新規相談件数	介護保険課	25年度件数		24年度件数	
		0	合計	2	合計
(再掲)	権利擁護センターあだち	594	594	619	621
	介護保険課	0	合計	2	合計
苦情相談件数	権利擁護センターあだち	4	4	8	10

権利擁護センターあだちの件数は、高齢者相談のみ

同一案件で両方に相談があったものは、権利擁護センターあだちの件数として計上

5 . 事業者への実地指導結果

種 別	実施数	改善指摘有	うち返還有	改善指摘無	24年度実施数
訪問介護（予防含む）	59	53	9	6	8
福祉用具貸与（予防含む）	2	2	0	0	0
認知症対応型共同生活介護（予防含む）	2	2	0	0	6
居宅介護支援	26	26	21	0	17
介護老人保健施設	4	4	1	0	1
通所介護（予防を含む）	30	28	16	2	83
小規模多機能（予防含む）	0	0	0	0	19
通所リハビリ（予防含む）	8	8	0	0	2
短期入所療養介護（予防含む）	8	8	1	0	0
短期入所生活介護（予防含む）	0	0	0	0	2
夜間対応型訪問介護	2	1	0	1	0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	0	0	2	0
合 計	143	132	48	11	138

25年度中に実施指導をした事業所の算定済自主返還額合計は、48事業所、9,542,647円

参考：25年度東京都実施分（介護予防は含まず）

種 別	実施数	指摘あり	24年度実施数
居宅介護支援	1	0	2
訪問介護	3	1	3
訪問看護	6	6	3
通所介護	4	1	9
通所リハビリテーション	2	2	2
訪問リハビリテーション	1	1	0
福祉用具貸与・福祉用具販売	0	0	0
短期入所生活介護	5	0	10
特養（老人福祉施設）	5	4	11
有料老人ホーム・特定施設入居者生活介護	0	0	3
合 計	27	15	43

平成26年度 第1回 介護保険・障がい福祉専門部会 資料

平成26年7月4日

件名	高齢者実態調査報告（速報）について						
所管部課名	福祉部高齢サービス課・介護保険課						
内 容	事業計画策定のために実施した調査（調査期間：平成26年3月10日～4月30日）の速報がまとまったので報告する。						
	1 調査の種類						
		調査名	発送数	回収数	有効票	無効票	回収率
		(1)一般高齢者実態調査	2,000	1,095	1,091	4	54.8%
		(2)高齢者単身世帯実態調査	2,000	1,131	1,126	5	56.6%
		(3)要介護認定者実態調査 （要支援1・2、要介護1）	2,000	1,020	1,019	1	51.0%
		(4)要介護認定者実態調査 （要介護2以上）	2,000	918	916	2	45.9%
		(5)日常生活圏域ニーズ調査	7,500	4,411	4,398	13	58.8%
		(6)居宅介護支援事業所実態調査	213	134	131	3	62.9%
		(7)介護保険在宅サービス事業所 実態調査	643	382	370	12	59.4%
		(8)介護保険施設実態調査	33	21	21	0	63.6%
		(9)有料老人ホーム施設実態調査	29	12	11	1	41.4%
		(10)サービス付き高齢者向け住宅 実態調査	30	17	17	0	56.7%
	2 調査結果概括						
	(1)一般高齢者実態調査						
	・自分の健康について、「健康だと思う人」が73.1%、「健康ではないと思う人」が26.1%となっている。						
	(2)高齢者単身世帯実態調査						
	・ひとりで暮らしていることについて、どのように感じるかについて、「気が楽でよい」「不安を感じる」が45.8%、次いで「さびしく感じる」が29.6%、「気持ちにはりが出てよい」が15.2%となっている。平成22年度調査と比較すると、「気が楽でよい」の人が11.3ポイント増加。						
	(3)要介護認定者実態調査（要支援1・2、要介護1）						
	・家族構成について、「ひとり暮らし」が35.5%と最も多く、次いで「あなたと65歳以上の配偶者のみの二世帯」が28.4%、「その他の世帯（同居世帯）」が23.3%となっている。平成22年度調査と比較すると、大きな変化はみられない。						
	(4)要介護認定者実態調査（要介護2以上）						
	・家族構成について、「その他の世帯（同居世帯）」が35.1%と最も多く、次いで「あなたと65歳以上の配偶者のみの二世帯」が25.8%、「ひとり暮らし」が17.9%となっている。						
	(5)日常生活圏域ニーズ調査						
	生活機能						
	・社会的役割の低下が一般高齢者で27.5%、認定者で66.8%と高い割合を示してい						

る。地区別で見ると、北東地区の認定者が他地区に比べ低下割合が高くなっている。

閉じこもり

・全体では、閉じこもりのリスクのある人の割合が一般高齢者で 8.0%、認定者で 22.4%となっている。地区別で見ると、北東地区の認定者で割合が高くなっている。

認知症

・全体では、認知症のリスクのある人の割合が一般高齢者で 37.7%、認定者で 62.8%となっている。地区別で見ると、地区による大きな差異はみられない。

(6) 居宅介護支援事業所実態調査

・区内で供給量が不足している介護サービスについて、「介護老人福祉施設」が 23.7%と最も多く、「訪問リハビリテーション」が 22.1%、「短期入所生活・療養介護」が 19.1%と続いている。

(7) 介護保険在宅サービス事業所実態調査

・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を実施している事業所において、事業の拡大予定については、「ある」が 50.0%、「ない」が 16.7%となっている。

(8) 介護保険施設実態調査

・現在入所(院)者の要介護度について、「要介護 4」が 32.8%で最も多く、「要介護 5」が 32.1%、「要介護 3」が 21.7%と続いている。なお、「自立」「要支援」の入所(院)者はいなかった。

(9) 有料老人ホーム施設実態調査

・現在入居者の要介護度について、「要介護 5」が 26.2%で最も多く、「要介護 4」が 23.5%、「要介護 3」が 18.8%と続いている。要介護度が下がるほど、入居者数も少なくなっている。

(10) サービス付き高齢者向け住宅実態調査

・現在入居者の要介護度について、「要介護 2」が 18.7%で最も多く、「要介護 4」が 16.8%、「要介護 5」が 15.9%で続いている。

3 日常生活圏域ニーズ調査における区独自質問項目

(1) 元気応援ポイント事業のボランティア活動を知っていますか。

・「知っている」では、一般高齢者の割合が 32.8%、認定者の割合が 27.0%

(2) 足立区で行っている「孤立ゼロプロジェクト」を知っていますか。

・「知っている」では、一般高齢者の割合が 10.2%、認定者の割合が 5.3%

(3) 特別養護老人ホームに入所した場合、個室、多床室のどちらを希望しますか。

・「個室」の割合が一般高齢者で 54.6%、認定者で 52.3%、「多床室」の割合が一般高齢者で 34.3%、認定者で 38.5%

(4) 最期をどこで迎えたいと思いますか。

・「自宅」の割合が一般高齢者で 63.6%、認定者で 60.2%、「病院」の割合が一般高齢者で 21.1%、認定者で 24.8%

(5) 自分を高齢者だと思えますか。

・一般高齢者では「いいえ」の割合が 51.5%、「はい」の割合が 45.6%、認定者では「いいえ」の割合が 16.1%、「はい」の割合が 79.8%

(6) 高齢者は何歳からだと思えますか。

・「80～84歳」の割合が、一般高齢者で 28.4%、認定者で 30.6%と最も高い

(7) いくつまで健康に過ごしたいですか。

・「90歳以上」の割合が、一般高齢者で 29.9%、認定者で 45.4%と最も高い